

表5. 転倒予防事業の実施状況

	市部	町村部	計
実施している	94 (49.7)	117 (52.9)	211 (51.5)
実施していない	95 (50.3)	104 (47.1)	199 (48.5)
計	189 (100.0)	221 (100.0)	410 (100.0)

表6. 転倒予防事業実施自治体における各種事業実施の割合

	市部 (n=94)	町村部 (n=117)	計 (n=211)
転倒予防に関する講話	80.9 %	70.1 %	74.9 %
検診・健康調査	36.2	30.8	33.2
広報などの資料配布	24.5	23.1	23.7
体操	69.1	64.1	66.4
筋カトレーニング	25.5	19.7	22.3
転ばないための歩き方教室	20.2	13.7	16.6
ダンス・エアロビクス	13.8	15.4	14.7
レクリエーションゲーム	34.0	35.0	34.6
料理教室	30.9	33.3	32.2
住宅改造・環境整備	23.4	20.5	21.8
その他	19.1	9.4	13.7

表7. 転倒予防事業の実施期間

	1週間未満	約1ヶ月	約3ヶ月	6ヶ月以上	その他	計
転倒予防に関する講話	66.2	8.6	6.0	16.0	3.3	100.0 (151)
検診・健康調査	57.2	9.5	11.1	15.8	6.3	100.0 (63)
広報などの資料配布	50.0	8.3	2.8	16.6	22.2	100.0 (36)
体操	46.2	6.1	6.8	36.3	4.5	100.0 (132)
筋カトレーニング	27.9	9.3	9.3	51.1	2.3	100.0 (43)
転ばないための歩き方教室	37.9	10.3	17.2	34.5	0	100.0 (29)
ダンス・エアロビクス	30.0	3.3	13.3	46.6	6.7	100.0 (30)
レクリエーションゲーム	32.2	6.8	8.5	50.8	1.7	100.0 (59)
料理教室	54.3	5.1	10.2	27.1	3.4	100.0 (59)
住宅改造・環境整備	37.8	10.8	0	37.8	13.5	100.0 (37)
その他	33.3	0	7.4	37.0	22.2	100.0 (27)

表8. 転倒予防事業の「評価」を行っている自治体の割合

	市部	町村部	計
転倒予防に関する講話	15.3 %	17.5 %	16.4 %
検診・健康調査	40.6	35.5	38.1
広報などの資料配布	12.5	4.5	7.9
体操	25.0	18.1	21.2
筋カトレーニング	42.9	36.4	39.5
転ばないための歩き方教室	42.9	40.0	41.4
ダンス・エアロビクス	38.5	17.6	26.7
レクリエーションゲーム	20.8	22.2	21.7
料理教室	19.2	21.2	20.3
住宅改造・環境整備	38.9	30.0	34.2
その他	35.3	50.0	40.7
各事業実施自治体数に占めるその事業の評価を行っている自治体の割合			

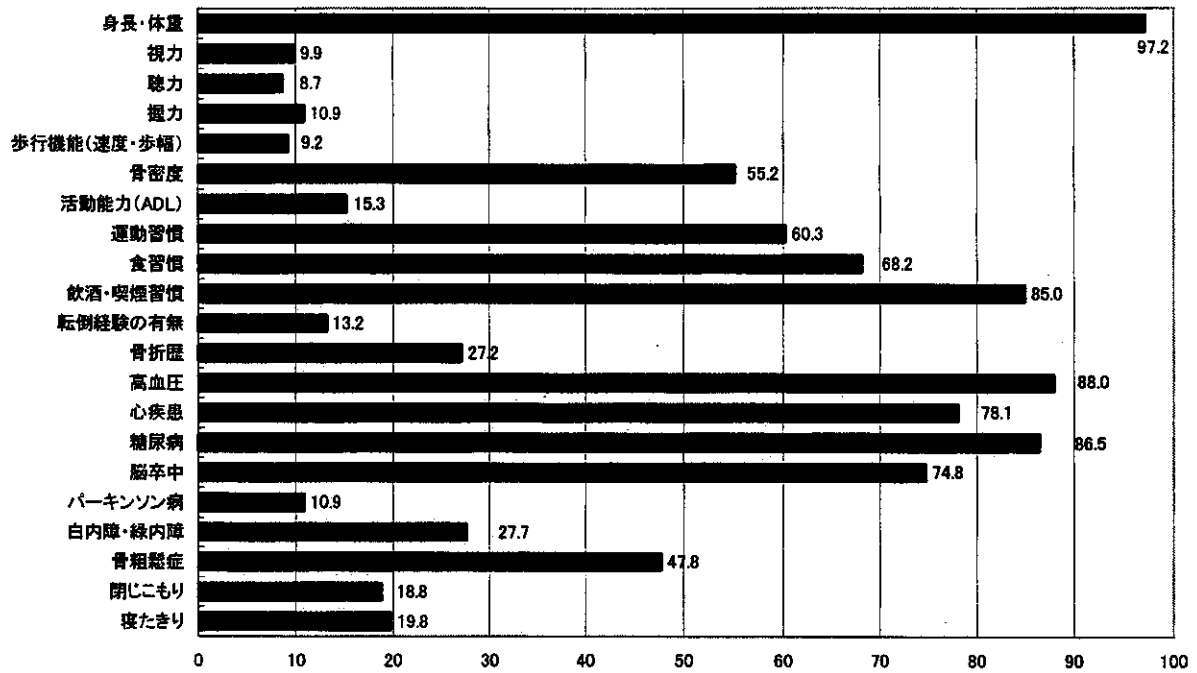
表9. 転倒予防事業を実施していない理由

	市部 (n=94)	町村部 (n=103)	計 (n=197)
予算がない	26.6 %	22.3 %	24.4 %
スタッフがいらない	34.5	65.5	42.6
施設、設備が整っていない	11.7	16.5	14.2
運営指導プログラムが分からない	42.6	52.4	47.7
事業実施の必要性を感じない	3.2	3.9	3.6
その他	41.5	32.0	36.5

表10. 転倒予防を実施していない自治体における今後の転倒予防の計画

	市部	町村部	計
実施予定あり	47.8	35.9	41.5
実施予定なし	28.3	37.9	33.3
その他	23.9	26.2	25.1
計	100.0 (92)	100.0 (103)	100.0 (195)

図1. 高齢者を対象として実施している健診、健康調査活動の内容



高齢者の転倒予防を目的とした保健事業に関する実態調査

<記入上の注意>

1. 記入は原則として、健康づくり事業担当者の方をお願い致します。
2. 各設問に対する回答は、該当する回答肢の（ ）欄に○印をご記入下さい。
3. 特別な指示のない場合は、番号順にそってお進み下さい。
4. 各設問ならびに表紙の記述欄については、いずれも記入もれのないようお願い致します。
5. 本調査に関するお問い合わせは、事務局までご連絡下さい。

高齢者の転倒予防活動事業の実態と評価に関する研究班
研究代表者 新野 直明

(問い合わせ事務局)
 ジュコークリエイティブ
 調査部
 東京都文京区白山1-7-6
 電話 03-5689-2641

市区町村名		都道府県	市区町村
-------	--	------	------

課		係	
---	--	---	--

職名		氏名	
----	--	----	--

総人口:	人(平成 年 月 日現在)
65歳以上人口:	人(高齢化率 %)
75歳以上人口:	人

健康づくり事業関連の課(係) の常勤スタッフの人数	保健婦	人
	栄養士	人
	その他	人

* この調査票は、12月15日までに同封の封筒にてご返送下さい。

「高齢者の転倒予防を目的とした保健事業」の重要性についてお伺いします。

問1 「転倒予防を目的とした保健事業」は、他の保健事業と比較した場合、どの程度重要とお考えですか。以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () 非常に重要である
- ② () 重要である
- ③ () あまり重要ではない
- ④ () ほとんど重要でない

転倒予防事業の実施状況についてお伺いします。

問2 あなたの市町村で、この1年間に「転倒予防を主な目的とした保健事業」は実施されていますか。以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () はい → 問3にお進み下さい
- ② () いいえ → 問4にお進み下さい

問3 問2で「はい」と答えた場合、お答え下さい。

a) 事業に携わるスタッフで、以下の資格に該当する方の人数をご記入下さい。(複数回答可)

- ①医師 () 人 ②保健婦(士) () 人 ③理学療法士・作業療法士 () 人
- ④看護婦(士) () 人 ⑤栄養士 () 人 ⑥健康運動指導士など () 人
- ⑦事務職 () 人 ⑧その他 () () 人

b) 実施されている事業内容について該当するものを以下より選び、○をつけて下さい。また該当するものについては、いつ頃から実施されているのかご記入下さい。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① () 転倒予防に関する講話 | 平成 () 年より実施 |
| ② () 検診・健康調査 | 平成 () 年より実施 |
| ③ () 広報などの資料配布 | 平成 () 年より実施 |
| ④ () 体操 | 平成 () 年より実施 |
| ⑤ () 筋力トレーニング | 平成 () 年より実施 |
| ⑥ () 転ばないための歩き方教室 | 平成 () 年より実施 |
| ⑦ () ダンス・エアロビクス | 平成 () 年より実施 |
| ⑧ () レクリエーションゲーム | 平成 () 年より実施 |
| ⑨ () 料理教室 | 平成 () 年より実施 |
| ⑩ () 住宅改造・環境整備 | 平成 () 年より実施 |
| ⑪ () その他 | 平成 () 年より実施 |

→ c)にお進み下さい

c) b)で実施しているとお答えになった転倒予防事業内容の、実施期間および実施の頻度、また事業プログラム終了後の指導効果の評価を行っているかどうかについてお答え下さい。事業内容番号（問3 b）を参照）とその事業名、および実施期間（コード表 A）、実施頻度（コード表 B）、指導効果の評価（コード表 C）を各コード表の中から該当する番号でご記入下さい。（複数回答可）

記入例

事業内容 番号	事業名	実施期間 A	実施頻度 B	評価 C
⑦	ダンス・エアロビクス	4	3	1
⑩	健康祭で転倒の危険性などについて展示	1	7	2

コード表 A

転倒予防事業プログラムの
実施期間

1. 1日
2. 1週間未満
3. 約1ヶ月
4. 約3ヶ月
5. 約6ヶ月
6. 約1年間
7. 1年以上
8. その他

コード表 B

転倒予防事業プログラムの
実施頻度

1. ほぼ毎日
2. 週2~4回程度
3. 週1回程度
4. 月2~3回程度
5. 月1回程度
6. 2~3ヶ月に1回程度
7. その他

コード表 C

事業プログラム終了後の
指導効果の評価

1. 評価している
2. 評価していない

d) 転倒予防事業プログラム終了後の指導効果を評価しているとお答えになった方にお聞きします。指導効果はみられましたか。以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () 効果なし → 問5にお進み下さい
- ② () 効果がみられた

どの事業内容にどのような効果がみられたかご記入下さい

事業内容番号 _____

その効果：

事業内容番号 _____

その効果：

問4 問2で「いいえ」と答えた（転倒予防事業を実施していない）場合、お答え下さい。

a) 実施していない理由を以下より選び、○をつけて下さい。（複数回答可）

- ① () 予算がない
- ② () スタッフがいない
- ③ () 施設および設備が整っていない
- ④ () 具体的な運営・指導プログラムが分からない
- ⑤ () 事業実施の必要性を感じない
- ⑥ () その他 ()

b) 今後の転倒予防に関する計画について以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () 近い将来実施する予定がある
- ② () 実施の予定はない
- ③ () その他 ()

高齢者を対象とした健診・健康調査活動についてお伺いします。

問5 あなたの市町村で実施している高齢者あるいは中高年以上を対象とした健診・健康調査活動の内容に、以下のものは含まれていますか。該当するものを以下より選び、○をつけて下さい。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|-------------------|---------------|
| ① () 身長・体重 | ② () 視力 | ③ () 聴力 |
| ④ () 握力 | ⑤ () 歩行機能(速度・歩幅) | ⑥ () 骨密度 |
| ⑦ () 活動能力(ADL) | ⑧ () 運動習慣 | ⑨ () 食習慣 |
| ⑩ () 飲酒・喫煙習慣 | ⑪ () 転倒経験の有無 | ⑫ () 骨折歴 |
| ⑬ () 高血圧 | ⑭ () 心疾患 | ⑮ () 糖尿病 |
| ⑯ () 脳卒中 | ⑰ () パーキンソン病 | ⑱ () 白内障・緑内障 |
| ⑲ () 骨粗鬆症 | ⑳ () 閉じこもり | ㉑ () 寝たきり |
| ㉒ その他 () | | |

高齢者を対象とした保健事業の実施状況について伺います。

問6 あなたの市町村で、この1年間に「閉じこもり」予防に関する保健事業は実施されていますか。以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () はい
② () いいえ

問7 あなたの市町村で、この1年間に「生活機能(ADL)低下」予防に関する保健事業は実施されていますか。以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () はい
② () いいえ

転倒予防事業に対する興味・関心についてお伺いします。

問 8 あなたは、「高齢者の転倒予防を目的とした保健事業」にどの程度、関心をお持ちですか。
以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () 大変関心がある
- ② () まあ関心がある
- ③ () あまり関心がない
- ④ () 全く関心がない

問 9 機会があれば、何らかの研究機関と共同で、あるいは独自に高齢者の転倒予防に関する研究活動を実施したいと思いますか。以下より一つ選び、○をつけて下さい。

- ① () 是非実施したい
- ② () できれば実施したい
- ③ () 実施したいとはあまり思わない
- ④ () 実施したいとは全く思わない
- ⑤ () その他 ()

ご協力ありがとうございました。

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Niino N, et al	Frequencies and Circumstances of Falls in the National Institute for Longevity Sciences, Longitudinal Study of Aging (NILS-LSA)	J Epidemiol	10	S90-S94	2000
新野直明、他	National Institute for Longevity Sciences-Longitudinal Study of Aging (NILS-LSA)における運動能力調査	Research in Exercise Epidemiology	2	10-15	2000

IV. 研究成果の刊行物・別刷

20000882

これ以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますのでP.51 の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。